

【物流 Web ツール】11型パレットへの商品積み方シミュレーションに、実務者向けお役立ちコンテンツを追加。物流 2024 年問題の対策に活用を

日本パレットレンタル株式会社(東京都千代田区 代表取締役社長 二村篤志 以下、JPR)は、同社のホームページ上で公開している11型パレットへの商品の積み方をシミュレーションできるツールに、実務者に役立つ「パレット輸送導入ガイド」を掲載し、公開しました。

物流業界では、トラックドライバー不足が深刻化しており(「物流 2024 年問題」)、トラックの手配がますます困難になっています。このような状況を改善するために「11型」と呼ばれる、標準規格パレットを使った輸送が有効です。企業間で 11 型パレットを活用した輸送を行うことで、トラックドライバーの長時間にわたる荷役作業や待機時間が削減され、安定した車両確保につながります。JPR は、11 型パレットへの商品の積み方をシミュレーションできるツール「JPR11 型パレットローディングパターン」を、ホームページ上で公開しており、月間7,000セッションを超えるアクセスを得ています。このたび、「パレット輸送導入ガイド」を追加し、物流 2024 年問題の対策にさらに役立つページになりました。

積み付け商品のサイズを入力してください
(数値200~1,100)

横幅 W (mm)

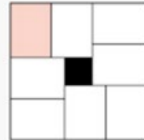
奥行 D (mm)

クリア

最適パターンを表示する

1,100×1,100パレット最適積み付け結果

パターンNo	12
積み付け個数	8 個
表面占有率	99.17 %



- ・JIS規格の考え方に沿った結果を表示しております。そのため、最大積載数とは異なる場合があります。
- ・JIS規格で定義されている積荷サイズについて、同じ結果となることを検証しておりますが、それ以外のサイズに関してはJIS規格と同様の考え方を基に、弊社で計算した結果を表示しております。ご了承ください。

※本結果は上記のように計算をされておりますが、保証は出来ませんことをご了承ください。
またご自身でもお確かめ頂くようお願い致します。

11型パレットへの商品の積み方をシミュレーションできる

JPR11 型パレットローディングパターン

<https://www.jpr.co.jp/pallet-loading-pattern/>

この記事のポイント

パレット輸送は、
トラックドライバーの
負担軽減に有効です



パレット輸送を行うには
標準サイズの
パレットが最適です



自社製品に最適な
パレタイズ方法は、
JPRのツールで確認可能です



なぜパレット輸送が注目されているか

パレット輸送には11型が最適

自社製品に最適なパレタイズ方法を簡単に調べる方法

パレットサイズの変更に対する考え方

なぜパレット輸送が注目されているか

『物流2024年問題』というキーワードで注目を集めたように、物流の現場では、トラックの集車に厳しさが増えています。国は改正物流効率化法によって、企業にトラックドライバーの労働条件の改善を促しています。その中で推奨されているのが、パレット輸送。「一貫パレチゼーション」の導入です。トラックドライバーの長時間の荷役作業や待機（荷待ち）を緩和し、安定的な車両

「パレット輸送導入ガイド | パレットサイズ選択とパレタイズ方法」

<https://www.jpr.co.jp/pallet-loading-pattern/pallet-transportation-guide/>

■ 掲載内容

- なぜパレット輸送が注目されているか
- パレット輸送には 11 型が最適
- 自社製品に最適なパレタイズ方法を簡単に調べる方法
- パレットサイズの変更に対する考え方
- 導入の準備・テスト輸送の実施

■ 参考

導入事例

<https://www.jpr.co.jp/case/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

日本パレットレンタル株式会社 広報部 広報グループ 那須

Tel: 03-6895-5215 / Mail: pr@jpr.co.jp / URL: <https://www.jpr.co.jp>

日本パレットレンタルの過去のリリースはこちら↓

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/102973